

エイエス九州 有限会社

- ・本社所在地 春日市
- ・業種 サービス業
- ・事業内容 建物内部の清掃
- ・設立年 2001年
- ・従業員数 25人
- ・テレワーク導入部署 えがお巡回清掃部
- ・テレワーク導入対象 30人



テレワーク導入のきっかけ

膨大な報告メールの効率的な処理

各地の清掃現場で作業をするスタッフからの作業終了報告は、携帯の写真つきメールで送られてくる仕組みになっている。今までは送られてきたメールを検索し、顧客ごと、月ごとなどに情報を整理し直して報告書を作成していたが、業務拡大による報告メールの増大にともない、効率よく必要な情報を抽出できる手段が必要になった。

また、遠隔地にいるスタッフとの情報伝達を、メール以外の方法で可能にする仕組みも必要になった。

テレワークによる課題解決の方法

クラウド上のグループウェアにさまざまな情報を集約

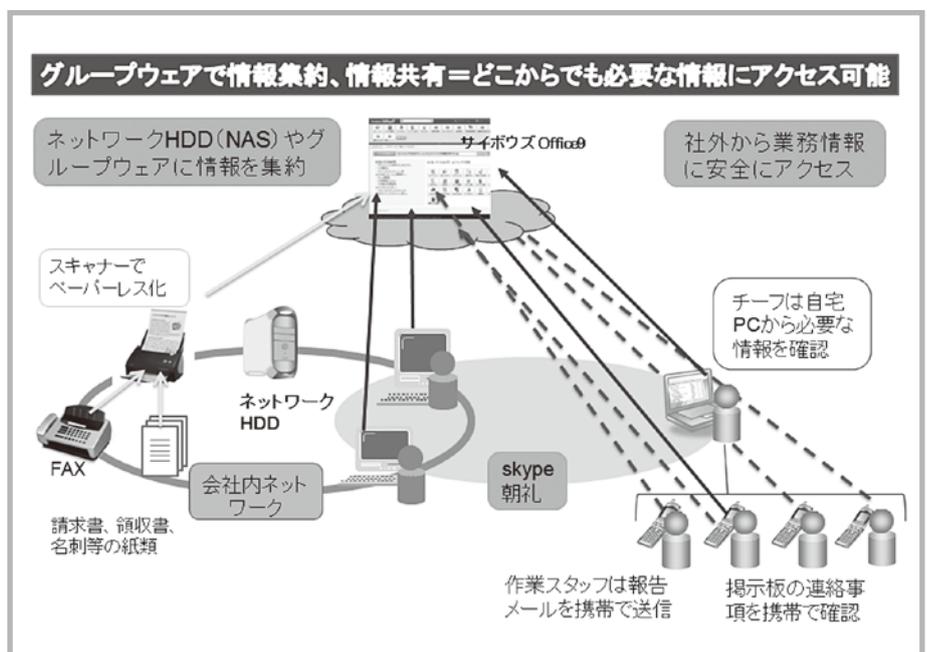
- ◎ クラウド上のグループウェア「サイボウズオフィス9」内に報告メールを保管するデータベースを構築

→ 届いた報告メールが自動的にデータベースに流れ込むので入力の手間が省けるようになった。

→ 報告書をデータベースで保管することで、条件に応じて抽出したり、検索できるようになった。

- ◎ 同じ「サイボウズ」内のカレンダーや掲示板機能を活用

→ 業務スケジュールや朝礼での伝達事項などの情報共有が容易になった。



テレワーク導入に関する感想・評価



◆企業担当者の感想◆

情報の共有・活用を進めて業務エリアの拡大へ

これまでメールの状態で作成していた作業報告書がデータベースの形で保管できるようになったので、月別、作業箇所別、担当者別など、情報の絞り込みや抽出がしやすくなりました。

グループウェアには、まだまだいろいろな機能があるので、さらに生産性が上がるように活用を進めたいと考えています。

遠隔地にいるスタッフの管理やコミュニケーションがうまくいけば、さらに県内の他の地域にも業務を拡大することが可能になりそうです。

◆テレワーク導入のポイント◆

グループウェアをさまざまなデバイスで利用

遠隔地で働くスタッフからの報告を整理したり、情報を共有したりする際に、クラウド上のグループウェアは大変便利です。パソコンだけでなく、携帯やスマートフォンを使ったアクセスでも対応できるので、利用の幅が広がります。同じような仕組みを使って、外出先の営業担当者と社内の営業サポート社員との間の連絡や情報共有に応用することもできます。

今後、カレンダー機能を活用すれば、全員がその日、どこで、どんな作業が行われているかといったスケジュールの共有も可能になります。

さらに、現在は担当者のパソコンの中に保存している各種のデータをサイボウズの共有フォルダに移すことで、他のスタッフとの情報共有もしやすくなります。

テレワーク導入までの道のり

- 2012年 11月 19日 啓発員訪問
- 2012年 11月 26日 コーディネーター訪問、ヒアリング
- 2012年 12月 12日 コンサルタント訪問、導入計画提案
- 2013年 1月 23日 コンサルタント訪問、ツールのデモンストレーション
- 2013年 1月 31日
～ 2月 6日 スカイプとメールを通じて、グループウェア導入をサポート
- 2013年 3月 4日 スカイプ会議にて試用結果のヒアリングや今後の方針の確認
現時点での問題点の解決方法の提案

導入ツールとコスト(概算)

合計 4,000円(月額)

- グループウェア ・ サイボウズオフィス9(クラウド版) 4,000円(月額)